

# 令和6年度 体力向上における各校の取組みと成果(小学校)

勝山市

教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	平泉寺	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	器械運動発表会やなわとび大会前には、強化週間を設け、全校で取り組める環境を作った。	1分間のハの字跳びを、1・2年生は83回(強化期間前は40回台)、3・4年生は86回、5・6年生は98回できた。その後特に1・2年生は、自主的にほとんどの休み時間を練習に当てている姿が見受けられた。
2	成器南	小学校	その他	校外での体育的行事への紹介	恐竜クロカンマラソンや少年少女スキー大会など、校外での体育的行事を児童に紹介し、積極的に参加するよう促した。大会前の業間活動やスキー練習を積極的に行っていた。また、参加した児童は自分の記録を超えたいと、来年もチャレンジしようという意欲をもつことができた。
3	成器西	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	週3回のマラソン運動の意欲をはかるため、マラソンカードをクリアした児童を表彰する賞状を用意した。	どの学年もマラソンカードをクリアする児童が増え、特に低学年は意欲的に走ることができた。
4	村岡	小学校	本校の体力向上の取組みについて	4月・5月の高学年の体育の授業では、授業の最初にスキップなどの体づくり運動を行うようにした。	体力テスト50m走では、4年男子、5年男子、6年男子、5年女子の記録が県平均を上回った。
5	三室	小学校	本校の体力向上の取組みについて	週2回、業間に全校でランランタイムを実施した。火曜日は5分間走、金曜日は外周コースに出てマラソンを行い、体力アップに努めた。雨天時は、8の字跳びを行った。冬季は、なわとびタイムに移行した。	ランランタイムが始まった春と秋を比較すると、外周コースを走るときに8割の児童がより短いタイムでゴールできていた。
6	野向	小学校	その他	陸上競技や器械運動、クロスカントリースキーなど、行事の前には放課後練習を行って、技能の向上に努めた。	放課後練習は自由参加だが、ほぼ全員が参加し、意欲的に取り組んだ。特にクロスカントリースキーでは、市の大会に参加した6名全員が入賞を果たすなど、技能が向上した。

7	荒土	小学校	本校の体力向上の取組みについて	自分の動きを客観的に捉えるために、タブレットなどICT機器を積極的に使用する。	ダンスの練習で動画を撮って自分たちで見返すことで、自分の動きやグループの動きを客観的に捉え、自分たちで話し合いながら動きを改善することができた。
8	鹿谷	小学校	本校の体力向上の取組みについて	オリジナルの準備体操「バンビ体操」を授業の最初に取り組み。また、体幹を鍛えるトレーニング(ムキムキ体操)を行う。	昨年度の体力テストの結果よりも、31項目の記録で上回っており、体力向上の一因となったと考えられる。
9	北郷	小学校	本校の体力向上の取組みについて	業間運動として火曜と木曜に「郷GOスポーツタイム」を設定し、全校で5分間走や縄跳びなどに取り組みんだ。縦割り班を中心に行い、高学年がリーダーとして指示を出すなどした。	年間を通じて継続的に取り組むことで、児童の体力向上につながった。また、縦割り班で取り組んだことで、異学年交流や運動を楽しむ時間にもなった。